

女性のつながりサポート支援事業【薩摩川内市】

個別事業費	3,241 千円
交付金額	1,620 千円

地域の実情と課題

令和元年度に実施した事業所等アンケート結果によると、女性には家事・育児等に伴い配置や残業に制約があるといった割合が41.8%と高く、男性に比べ、女性は家庭の負担が重いといった割合が62.9%と高いことから、性別による役割分担の固定化解消が課題となっている。女性が地域社会において生き生きと活躍できるよう、ワークライフバランスや多様な働き方の実現など就労環境整備とともに、女性や女兒が相談しやすい相談支援体制の充実による寄り添った支援が必要である。

事業の特徴

本市男女共同参画センターにおいて、地域との連携や困窮支援等ネットワークやノウハウを持つ市内の社会福祉法人への委託により女性の相談窓口を設置し、地域で活動する支援員や、学校、関係機関等と連携した寄り添った支援を実施する。

また同施設内にある子育て支援等担うセンターとの連携による支援や居場所づくり事業の実施、生理用品の無償提供も行う。

事業の効果

対面、電話、ライン相談を実施しており、若い世代のラインでの相談も増えている等、これまで市の相談窓口を利用しなかった女性が相談に繋がっている傾向がみられた。また、この窓口を通じ必要に応じ関係機関と連携を図り支援につなげた。

令和6年度の相談件数は554件であり目標設定を超える結果であった。

目的・目標

孤独や孤立、不安や困難を抱える女性が相談しやすい窓口を設置し、生理用品の提供、地域での支援者や関係機関との連携による、支援につながりづらい女性の掘り起こしを行い、女性の自立や活動の支援を行う。

【数値目標】

男女共同参画センターにおける相談受付件数

R6目標値 前年より80件増 R5実績 236件 ⇒ R6実績 554件

連携団体

薩摩川内市女性活躍推進協議会

(構成団体)

- | | |
|-----------|-------------|
| ・行政機関 | ・民間企業関係団体 |
| ・農林水産関係団体 | ・金融機関 |
| ・教育機関 | ・コミュニティ団体 等 |

今後の課題

公共施設や、学校において生理用ナプキンの提供の拡大をはじめ、女性や女兒に寄り添った支援につながる仕組みの構築や関係機関との連携体制を引き続き充実していく必要がある。また、不安を抱える女性のつながりの回復や自立に向けた居場所づくり事業と他のセミナー実施事業や就労支援事業との連携も深め充実していく必要がある。

